

## 第4期茨城県有機農業推進計画（2026-2029年度）の概要

- ・ 当該計画は有機農業推進法第7条に基づき策定するもの。また、「茨城農業の将来ビジョン」のアクションプランとしても運用。
- ・ 「有機農業と言えば茨城」のポジション確立に向け、生産面及び販売・流通面の対策を講じていく。

### 有機農業を巡る国内の動き

- ・ みどりの食料システム戦略の閣議決定（2021.5）  
→ SDGs達成のための有機農業について言及（目標値：2050年までに有機農業に取り組む耕地面積割合を25%）

### 本県における有機農業の取組と成果

### 第4期の達成目標（年度）

#### 第3期の主な取組

#### 第3期の取組成果（年度）

#### 生産面で2項目、販売面で1項目設定

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>➤ いばらきオーガニックステップアップ事業(2019年度～)により、有機農業モデル団地の形成や有機JAS認証取得支援等に取り組み、県北地域を中心とした有機農業の拡大を推進</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 耕地面積に占める有機農業取組面積の割合 1%：0.48%(2018)→0.59%(2024)</li><li>➤ 有機JAS認証取得面積 560ha：283ha(2020)→422ha(2023)</li><li>➤ 有機JAS認証取得件数 150件：108経営体(2018)→116経営体(2023)</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 耕地面積に占める有機農業取組面積の割合：<b>1.0%</b>(2028)</li><li>➤ 有機JAS認証取得面積：<b>800ha</b>(2027)</li><li>➤ 県の販路開拓支援により成約した有機農産物の取引件数：<b>40件</b>(2026-2029累計)</li></ul> |
|---|---|--|

### 主な課題と第4期の施策の方向性

#### 生産面

#### 販売・流通面

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 有機農業技術の体系化と指導力の向上が必要<br/>→有機農業技術推進チームが核となり、栽培マニュアル等の整備や生産技術の普及に取り組む。</li><li>➤ 有機農業においても、<u>高温環境による収量や品質の低下、病害虫被害が増加</u><br/>→試験研究や現地実証の強化のほか、栽培環境改善のための複数技術の導入を推進</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 県内有機農産物の生産量の増加に伴い、<u>販路の拡大や差別化</u>に取り組むことが必要<br/>→目標に成約件数を掲げ販路の拡大に取り組むほか、有機農産物の県認証制度を設け差別化を図る。</li><li>➤ 有機農産物は小ロットのため、<u>物流の改善によるコストの低減</u>が必要<br/>→産地や市場関係者等と連携し、互いの販売・流通ルートを活用や新規ルートの開拓を図る。</li></ul> |
|--|--|